

新しい新興国株式ファンドを設定

- 「新興国ハイクオリティ成長株式ファンド（愛称：未来の世界（新興国）」、
みずほ証券にて11月27日募集開始 -

アセットマネジメントOne株式会社（東京都千代田区、取締役社長 西恵正、以下「AM-One」）は、新ファンド「新興国ハイクオリティ成長株式ファンド（愛称：未来の世界（新興国）」を2017年12月11日に設定、運用を開始します。募集はみずほ証券株式会社にて2017年11月27日より行います。

当ファンドは、世界経済成長の恩恵の享受を目指します。ポートフォリオ構築にあたっては、ボトムアップ・アプローチを基本に、持続可能な競争優位性を有し、高い利益成長が期待される「ハイクオリティ成長企業」に着目、市場価格が理論価格より割安と判断される銘柄を厳選します。

具体的には、日本を含む世界の金融商品取引所上場株式の中から、新興国の株式または事業活動の主要な部分を新興国で行うと判断される企業の株式から、成長性、競争優位性、財務健全性等の観点からの分析を基に「ハイクオリティ成長企業」を発掘。さらに割安と判断される25～50銘柄に厳選して投資します。

当ファンドは、世界の「ハイクオリティ成長企業」に投資をする「グローバル・ハイクオリティ成長株式ファンド（愛称：未来の世界）」（2016年9月30日設定）の好調な実績を受けて、同様の運用戦略を用いて新興国企業等の株式に投資します。新興国を中心としたより高い成長機会を厳選することで、高いリターンの獲得を目指します。

AM-Oneはこれからも、投資機会の発掘を続け、個人投資家の資産形成に資する運用サービスのご提供に努めてまいります。

以上



新興国ハイクオリティ成長株式ファンド（愛称：未来の世界（新興国））追加型投信 / 内外 / 株式

グローバル・ハイクオリティ成長株式ファンド（限定為替ヘッジ / 為替ヘッジ）（愛称：未来の世界）追加型投信 / 内外 / 株式

【ファンドの費用】

【ご購入時】購入時手数料：購入価額に上限3.24%（税抜3.0%）を乗じて得た額【スイッチング時（未来の世界のみ）】スイッチング手数料：ありません。※スイッチングの際には別途換金時と同様の費用、税金がかかります。【ご換金時】換金時手数料：ありません。信託財産留保額：換金申込受付日の翌営業日の基準価額に0.3%の率を乗じて得た額【保有期間中（信託財産から間接的にご負担いただきます。）】運用管理費用（信託報酬）：ファンドの日々の純資産総額に対して年率1.836%（税抜1.70%） その他の費用・手数料：組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、信託事務の諸費用、外国での資産の保管等に要する費用、監査費用等が信託財産から支払われます。（その他の費用・手数料については、定期的に見直されるものや売買条件等により異なるものがあるため、事前に料率、上限額等を表示することができません。）

税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

上記手数料等の合計額等については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。詳細については、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

【ファンドのリスク】

未来の世界

株価変動リスク 業種および個別銘柄選択リスク 為替変動リスク カントリーリスク 信用リスク
流動性リスク

未来の世界（新興国）

株価変動リスク（業種および個別銘柄選択リスクを含みます） 為替変動リスク カントリーリスク 流動性
リスク 信用リスク

ファンドは、実質的に株式などの値動きのある有価証券等に投資します。このため、株式市場の変動、業種および個別銘柄の選択による株式市場全体の動向との乖離、為替相場の変動、投資対象国・地域における政治・経済情勢の変化等（新興国の経済状況は、先進国と比較して一般的に脆弱である可能性があり、これらの変化が株式市場、為替相場におよぼす影響が大きくなると予想されます。）市場に十分な需要や供給がないため取引を行えないまたは取引が不可能となること、組入有価証券の発行者にかかる信用状況の変化等により、組入れた有価証券等の価格が下落し、基準価額が下落する要因となります（為替ヘッジ取引を行っても為替変動リスクを完全に排除できるものではありません）。これら運用による損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金と異なります。

当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。お申込に際しては、販売会社からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。当ファンドは、実質的に株式等の値動きのある有価証券（外貨建資産には為替リスクもあります）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。当資料における内容は作成時点（2017年11月10日）のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

投資信託は、1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

【アセットマネジメント One について】

アセットマネジメントOne株式会社は、DIAMアセットマネジメント株式会社、みずほ信託銀行株式会社の資産運用部門、みずほ投信投資顧問株式会社及び新光投信株式会社（以下、総称して「統合4社」）が統合し、2016年10月1日に発足した資産運用会社です。「投資顧問事業」と「投資信託事業」の双方の事業領域における運用資産残高は約54兆円とアジアトップクラスの規模を誇ります。

統合4社が長年にわたって培ってきた資産運用に係わる英知を結集し、資産運用のプロフェッショナルとして、グローバル運用リサーチ体制に支えられた伝統的資産のアクティブ運用や金融工学を駆使した最先端の運用戦略等、個人投資家や機関投資家の多様な運用ニーズに対し、最高水準のソリューションの提供をめざします。

H P : <http://www.am-one.co.jp/>

運用資産残高は2017年6月末時点。

商 号 等 / アセットマネジメントOne株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第324号

加入協会 / 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会